

福島・東北を応援する「fukushima さくらプロジェクト」 プロジェクションマッピングイベントへの協賛と 新種のさくら「はるか」の寄贈・植樹を実施

株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林 一俊）は、東日本大震災の被災地への復興支援の一環として、本年も「fukushima さくらプロジェクト」に参加し、様々な取り組みを行っています。2019年3月21日～23日に会津若松市鶴ヶ城で開催されたプロジェクションマッピングイベントに協賛しました。また、同年4月7日には、復興のシンボルとして福島県に贈呈された新種のさくら「はるか」を茨城県坂東市の公園、高校に寄贈・植樹しました。

「fukushima さくらプロジェクト」は、福島発の新種のさくらを全国各地に届けることを中心に、様々な復興支援イベントを通じて、福島・東北を応援する気運を醸成する活動です。

■ プロジェクションマッピングイベントへの協賛

本年度7年目となるプロジェクションマッピングイベントには、約12,000人が来場しました。幻想的な映像とともに、オペラ歌手でタレントの森久美子さんが出演し、復興支援ソング「花は咲く」を歌うなど、震災からの復興に向かって歩み続ける方々にエールを送りました。



会津若松市 鶴ヶ城の様子

■ 新種のさくら「はるか」の寄贈・植樹

コーセーでは、昨年に引き続き、創業者・小林孝三郎の生まれ育った地でもある茨城県坂東市で、この新種のさくら「はるか」の植樹活動に取り組みました。今回は、「坂東市ふる里さしま古城まつり」の中で贈呈式を行い、その会場である逆井城跡公園さかさいじょうあとこうえんに「はるか」を植樹しました。贈呈式では冒頭に、坂東市長の木村敏文氏が挨拶を行い、「このはるかの苗木に込められた思いが、より多くの皆さんに届き、被災地の支援となることを願います。今後も皆さんと一緒にはるかの成長を見守ってまいります。」とのメッセージを伝えました。



逆井城跡公園 植樹式

なお、後日、坂東総合高等学校でも植樹を行う予定です。

当社では、「絆」をテーマにお客さまと化粧品販売店様とともに地域に根付いた活動を通じて、世の中全ての方に笑顔をお届けしたいと考えています。このプロジェクトも、福島発のさくらが復興の象徴となって、被災地で頑張っている皆様に元気と笑顔を届け、全国の皆様と強い絆を結びたいという想いがあります。当社としても、東北に心から笑顔が戻ってくる日を願い、引き続きこのプロジェクトを通じて応援していきます。

参考

<fukushima さくらプロジェクト はるか 2019 戊辰の風花の雲～森公美子と歌う「花は咲く」～ 実施概要>

日時 2019年3月21日(木・祝)、22日(金)、23日(土)
会場 会津若松市鶴ヶ城
主催 fukushima さくらプロジェクト
共催 会津若松市
後援 福島県、復興庁
協力 会津若松観光ビューロー
企画制作 NHK エンタープライズ
制作協力 P.I.C.S、S.C.アライアンス
特別協力 東京藝術大学 COI 拠点

web サイト <http://www.fukushimasakura.jp/2019/>

<fukushima さくらプロジェクト 福島発 新種のさくら「はるか」植樹 実施概要>

日時:平成31年4月7日(日)午前10時40分～
坂東市ふる里さしま古城まつりステージプログラム内
場所:茨城県坂東市内
逆井城跡公園(坂東市逆井 1262)
坂東総合高等学校(坂東市逆井 2833-115)
内容:「はるか」の苗木の贈呈、植樹
主催:坂東市

※古城まつり内では贈呈式のみ



ふる里さしま古城まつり内 贈呈式



逆井城跡公園



新種のさくら「はるか」



逆井城跡公園

■福島発 新種のさくら「はるか」について

「はるか」は、森林総合研究所が開発し、福島県に贈呈された新種の桜です。福島・東北を応援するシンボルとして、はるかかなたの未来にまで広がって欲しいという想いを込めて、NHK 大河ドラマ「八重の桜」で主役を務めた綾瀬はるかさんが、2013年12月24日に命名しました。

「はるか」の苗木は、福島県森林研究センターに建設された苗木の養生ハウスで育成・増殖しています。植樹については、2013年4月に初めて福島県白河市に植樹され、2014年2月には、福島県から京都市の同志社大学へ贈呈されました。その後も福島県にゆかりのある全国の場所へ贈呈されています。



苗木の育成の様子



植樹の様子



福島県白河市：南湖公園



京都市：同志社大学

【植樹された場所(抜粋)】

■福島県内

- ・福島県会津若松市：鶴ヶ城
- ・福島県白河市：南湖公園
- ・福島県福島市：JRA 福島競馬場
- ・福島県伊達市：さくらまつり

■全国各地

- ・京都府京都市：同志社大学
- ・兵庫県豊岡市：辰鼓楼の隣
- ・京都府京都市：京都府庁

など

※植樹レポート <http://www.fukushimasakura.jp/plant/>

■当社の植樹について

当社では、新しい小さな桜の木が、未来の子供達の夢や希望とともに育つことを願い、幼稚園や保育園などを中心に苗木を植樹。被災地の復興を願いながら、園児とともに新種の桜「はるか」を植樹しています。苗木の寄贈・植樹は、福島県会津若松市からスタートし、千葉県浦安市、昨年の茨城県坂東市に続いて今年で5年目となります。

※当社からの「はるか」贈呈先の募集について

当社では、小さな桜の木が、未来の子ども達の夢や希望と共に育つことを願い、幼稚園や保育園、小学校などを中心に新種のさくら「はるか」の苗木を贈呈、植樹しています。

ご希望の方は、当社HPよりお申し込みください※。

※苗木の数には限りがございます。

※ コーセーCSR情報「fukushima さくらプロジェクト」で福島・東北を応援

「化粧品を通じて新種のさくらを拡大」

http://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2015/07/sakura_present.pdf